

電気電子工学委員会

(第24期・第4回)

議事録

日 時 平成 30 年 10 月 5 日(木) 10:00～12:00

会 場 日本学術会議6階6-C(1)会議室

出席者 大西委員長、波多野副委員長、中野幹事、荒川委員、吉田委員、渡辺委員(副会長)(スカイプ参加)、石原委員、黒田委員、仙石委員、津田委員、中川委員、日高委員、保立委員、大柴幹事(スカイプ参加)、水野氏(浅間委員代理)

議 事

1. 定足数確認

・定足数12名のところ、14名の出席により委員会の成立を確認した。

2. 配布資料確認:資料1～資料9

3. 名簿確認

・資料1に基づき、連携会員への委員委嘱が承認されたことの報告と名簿確認を行った。

4. 前回議事録確認

・前回議事録について、メールベースでの回覧と委員長の最終承認されている内容(配布資料2)を中野幹事が読み上げた。

5. 第三部夏季部会(8/2-3)報告

・吉田委員より、配布資料3に基づき、第三部夏季部会についての説明が行われた。SDGsについては、日本学術会議ホームページのトップページにSDGsと学術会議のバナーが表示され、各分科会活動とSDGs17目標の関りについて可視化が進められていることが説明された。マスタープラン2020に関する検討状況について、渡辺委員より補足の説明があった。

6. 総会および第三部会(10/3-4)報告

・大西委員長より、配布資料4と5に基づき、10/3-4に開催された総会および第三部会についての説明が行われ、意見交換が行われた。

・渡辺副会長より、第18回アジア学術会議(SCA)を、2018年12月5日(水)から12月7日(金)まで、日本学術会議にて開催することが紹介された。人口減少社会の中でどのように持続的な社会を作れるのか、SDGsの次も見据えた工学で解決できる事の議論の重要性、国際学術会議(ISC: International Science Council)との連携について説明があった。

・昨年開催した学術情報とその将来に関する学術フォーラムの part2 を来年4月頃に開催することが紹介された。(資料7) オープンサイエンスの進展など、学術情報を取り巻く多くの課題が顕在化している。

電気電子工学委員会の関係する学協会連携とも深くかかわる問題であることで一致した。

・学術体制分科会が設置され、第 6 期科学技術基本計画と大学改革の議論を検討していることが紹介された。(資料6) 委員からの意見として、企業と大学の現場の声を反映していくことが重要、現在の大学予算削減の流れで 20 年後にノーベル賞を日本人が取れるのか懸念される等、大学制度の在り方について学術会議が提言することを期待する意見があった。

7. 分科会活動報告

・電気電子工学委員会の各分科会の活動報告があった。

8. 第 24 期の活動計画について

・大西委員長より、前回(第 3 回)電気電子工学委員会で提案された小委員会の設置について、構成メンバーを本委員会の委員長、副委員長、幹事、分野別分科会委員長とすることが提案され、承認された。小委員会設置提案書の作成については、大西委員長に一任することが了承された。

・9月6日の北海道地震でブラックアウトが発生したことを考える「全停エネルギーの未来を考える公開シンポジウム」の開催を、電気学会と協力して1月17日に学術会議講堂で行うことが大西委員長より提案され、意見交換の後、開催することで一致した。通信インフラについての講演者については通信・電子システム分科会へ検討を依頼する。今回の北海道地震では通信インフラはほとんどダメージを受けていないが、東日本震災の時の話や、科学的にどのような課題が明らかになったのかに着目した講演を依頼する。また、電子情報通信学会へ共催もしくは後援を依頼する。

8. その他

次回は、公開シンポジウム(1月17日)と合わせて、1月17日の午前中に行う予定とした。

配布資料

資料1 委員会名簿

資料2 第24期・第3回電気電子工学委員会議事録

資料3 第三部夏季部会議事要旨

資料4 総会資料抜粋

資料5 第三部部会議事次第

資料6 第5次科学技術基本計画の概要

資料7 総合イノベーション戦略概要

資料8 国際学術団体加入希望調査票

資料9 公開シンポジウムの開催について